

市政を問う

平成23年第3回羽村市議会(定例会)を、6月9日から6月28日までの20日間の会期で開催しました。開会初日には、市長から、市政についての所信表明演説がありました。6月9日、10日、13日には、14人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。

※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
富永 訓正	2	山崎 陽一	7
中嶋 勝	2	富松 崇	8
大塚あかね	4	鈴木 拓也	8
石居 尚郎	4	門間 淑子	9
小宮 國暉	5	馳平 耕三	10
西川美佐保	6	水野 義裕	10
橋本 弘山	6	倉田 学	11

とみなが のりまさ
富永 訓正 議員
(公明党)



- ◇市内建造物の耐震化対策
- ◇日本自動車工業会の土日稼働
- ◇自転車対策について

市内建造物の耐震化対策について
質問 学校体育館天井の付帯設備落下対策を含めた耐震化と耐震性について。

市長 建築工事標準仕様書に基づき、耐震化と耐震性の向上を図っている。
質問 現状で耐震性を十分に有した安全な建造物と断定できるか。

なかじま まさる
中嶋 勝 議員
(公明党)



- ◇市長・理事者の退職金について
- ◇緊急時の情報伝達方法について
- ◇行政サービスの充実について

市長はじめ理事者の退職金について
質問 1期4年ごとに支払われる市長はじめ理事者の退職金はいくらか。
市長 市長が1千416万円、副市長

が918万円、教育長が715万円となっている。
質問 この金額についてどう考えるか。

市長 新耐震基準の耐震性を有しており、安全性は確保されている。
質問 スポーツ施設は。
市長 スポーツセンターは、耐震化設計を平成23年度に、平成24年度に施工する計画。
質問 市役所はどうか。
市長 庁舎東棟は、新耐震基準に適合。西庁舎は旧耐震基準のため、耐震診断を行う必要がある。補正予算に、耐震診断を行う経費を計上、対策を講ずる。

日本自動車工業会の土日稼働について
質問 平日休業・土日稼働の事業所数と対象者数をどう把握しているか。
市長 企業の個別訪問などを行い、各社の動向の把握に努めている。
質問 保育園、幼稚園、学童保育、小中学校、放課後子ども教室等の対応は。
市長 市の実情を踏まえた保育サービスについて検討していく。
質問 行政、交通、医療等の各機関へ考えられる影響と、市が取れる対応は。
市長 影響はないと考える。市民の皆様からの問い合わせに対して、迅速かつ正確に情報を提供していく。

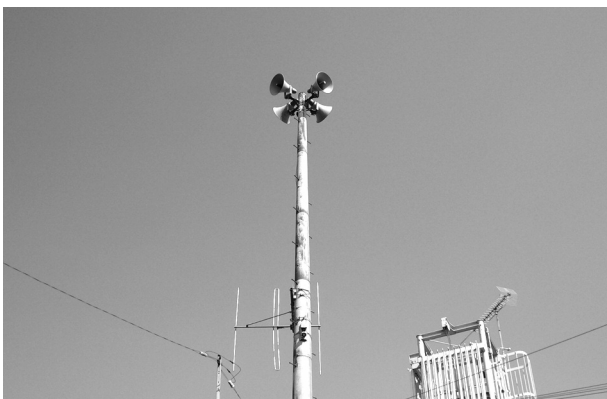
防災行政無線等の緊急時における情報伝達方法について
質問 防災行政無線を増やす計画はあるか。
市長 音の調査結果を踏まえ、聞こえにくい地域に対するスピーカーの調整や増設を行っていききたい。
質問 防災行政無線の総点検をすべきでは。
市長 市内全域の音の到達調査を実施し、難聴箇所の改善に努めたい。
質問 緊急時は広報車を巡回させてはどうか。
市長 地域防災計画にも規定しており、計画停電時に公用車、交通安全広報車、青色回転灯パトロール車、消防ポンプ車等で巡回広報を行った。

行政サービスの充実について
質問 窓口対応で市民からの苦情はどのようなものがあつたか。
市長 「接遇に関すること」「手続きについての説明不足や制度などの業務に関すること」などである。これまで全職員が一丸となって窓口対応と行政サービスの充実に努めてきたが、今後も職場内研修などを通じ、窓口対応の向上を図っていく。



▲市役所東庁舎1階

自転車対策について
質問 羽村駅周辺における新たな駐輪場の開設予定は。
市長 羽村駅西口土地区画整理事業の先行取得用地を一時利用し、自転車駐車場に活用することなどを検討中。
質問 再利用可能な処分対象放置自転車を被災地に寄贈できないか。
市長 寄贈することは可能。被災地のニーズがあれば対応していく。



▲防災行政無線